

## 一般演題募集要項

### 1 募集期間

令和元年6月3日（月）から令和元年8月16日（金）

**※ 締め切り後の登録は、一切認めません。**

### 2 一般演題募集内容

#### (1) 応募資格

消防職員を対象とします。

#### (2) 募集演題

別表の26テーマとします。

#### (3) 募集演題数

196演題（予定）とします。

※ 口演発表のみ（昨年度実施したデジタルポスターセッションは実施しません）。

#### (4) 発表方法等

##### ア 口演

パソコンを使用した口演とし、スライドはPowerPointを使用すること（詳細については、別途発表者に通知します）。

発表者は事前にホームページからスライド等を登録すること（スライドの登録方法等については、別途発表者に通知します）。なお、発表するスライドは、会場に設置する閲覧用パソコンで自由に閲覧可能とします。

#### (5) 発表時間

**7分以内とする（時間厳守）。**

### 3 応募方法

(1) 専用ホームページの「一般演題募集」の「演題登録はこちら」から必要事項を入力し、登録すること。

(2) 一般演題登録の際は、下記「4 査読・抄録原稿作成要件」を厳守すること（**要件を満たさないものについては、選考の対象外とします**）。

(3) 一般演題登録は、1人1演題までとする。

(4) 応募する演題の内容について「**所属長承認の有無**」をチェックすること（各消防本部の代表として発表することから、応募する演題の内容について「所属長承認の有無」を選択することを必須とする。なお、**承認の無い演題については、場合によっては演題の取り下げをお願いすることもあり、査読結果から発表演題を決定する際に、委員長一任により決定します**）。

(5) 発表内容に最も合致するテーマを、選択すること（採用の段階で希望テーマと異なるテーマでの発表をお願いする場合がありますので、あらかじめご了承ください）。

(6) 各消防本部の救急業務に関する工夫した取り組みについて、その消防本部でしか実施していない訓練・教育・指導方法、応急手当普及啓発方法、運用方法、資器材使用方法や開発など、明確なエビデンスや根拠となる論文が乏しい場合も遠慮せず、フランクに議論を深めることを目的に広く募集します。

### 4 査読・抄録原稿作成要件

(1) 研究報告（原則として過去に発表の例がなく、努めて独創的な研究であること）

ア 題 名

発表内容の主旨を明確に示したものであり、40文字（全角文字）以内とする。

イ 発表者及び共同研究者

発表者の氏名を筆頭に、共同研究者をこれに続き記入し、発表者が何らかの都合でシンポジウム当日に発表できない場合は、2番目に記載されている共同研究者が発表すること。

なお、共同研究者は10名までとする。

ウ 目 的

研究を行った目的と研究分野の背景を明確に記入すること。

エ 対象と方法

研究の対象と方法を具体的に記入することとし、データの統計学的分析を行った場合は、その方法について明記すること。

オ 結 果

研究から得られたデータをもとに、どのような結果が得られたか具体的に記入すること。

カ 考 察

結果から得られた成果を明確に記入すること。

※ 上記、ウ～カで1,000文字（全角文字）以内とする。

(2) 症例報告（原則として過去に発表の例のない症例であること）

ア 題 名

発表内容の主旨を明確に示したものであり、40文字（全角文字）以内とする。

イ 目 的

症例を発表する理由と意義について明記すること。

ウ 症 例

症例の内容を、年齢（年代）、性別、事故概要、主訴、現病歴、既往症、病態の変化などについて記入することとし、症例の特徴を示すこと。

エ 結果・考察

症例を経験したことから得られた知見を明記し、今後の活動等に与える影響、改善点、発展性について明記すること。

※ 上記、イ～エで1,000文字（全角文字）以内とする。

**【注意事項】**

- ① 査読・抄録原稿については、個人情報保護の観点から、掲載に適さない固有名詞、日時等は「●●」と表記すること（応募者及び応募者の所属において判断すること）。
- ② 査読・抄録原稿、発表スライドには、必要に応じて「参考文献・引用元」を明記すること（応募者及び応募者の所属において判断すること）。
- ③ **査読・抄録原稿の校正は、事務局では一切行わない**ものとする。よって、採用となった場合は、登録された内容の原稿が抄録集に掲載されるため、誤字・脱字等に十分配慮すること。

**5 演題の採否について**

- (1) 全国救急隊員シンポジウム運営委員会委員長により推薦された、医師及び消防関係者で構成される「査読委員会」において選考を行い、発表する演題を決定します。
- (2) 選考結果については、10月中旬頃までに応募者全員に対し、**演題登録時に記入するメールアドレスへ電子メールで通知し、発表者には文書をもって通知**します。

**6 発表者の費用負担について**

- (1) 参加費は徴収しません。
- (2) 交通費及び宿泊費等は、各自負担となりますのでご了承ください。

**【問合せ先】**

仙台市消防局警防部救急課  
〒981-0914  
仙台市青葉区堤通雨宮町2番15号  
TEL:022-234-1111 FAX:022-234-0214

一般財団法人救急振興財団  
事務局総務部企画調査課  
〒192-0364  
東京都八王子市南大沢4丁目6番地  
TEL: 042-675-9931 FAX: 042-675-9050

## 募集演題テーマ一覧

分類	テ　　マ
救急需要対策	(1) 救急安心センター事業（#7119）に関する事
	(2) 119番通報時や救急現場での緊急度判定に関する事
	(3) 搬送困難事例への対応（頻回利用、精神科等）に関する事
	(4) 一般負傷や疾病の予防等に関する事
	(5) 超高齢社会における救急業務の対策に関する事
	(6) 救急搬送の増大の要因に関する事
	(7) 救急隊員の労務管理に関する事
連 携	(8) 関係機関（医療機関、福祉、民間、行政等）との連携（転院搬送含む）に関する事
	(9) メディカルコントロール協議会との連携（救急活動プロトコルの検討等を含む）に関する事
	(10) ドクターカー・ドクターヘリとの連携に関する事
教 育	(11) 指導救命士に関する事
	(12) 通信指令（口頭指導、通信指令員の救急に係る教育等を含む）に関する事
	(13) 救急隊員教育（再教育含む）に関する事
活 動	(14) 救急活動に関する事（内因性）
	(15) 救急活動に関する事（外因性）
	(16) 救急活動に関する事（妊婦・小児対応）
	(17) 処置範囲拡大に関する事
	(18) テロ災害、多数傷病者事故に関する事
	(19) 大規模災害（南海トラフ地震含む）に関する事
	(20) 特異症例に関する事
	(21) 救急隊の感染防止対策に関する事
そ の 他	(22) 応急手当普及啓発（eラーニング、講習時間短縮等の普及促進策を含む）に関する事
	(23) 調査・研究（統計含む）に関する事
	(24) 救急資器材（ICT含む）に関する事
	(25) 各消防本部における救急業務の工夫した取り組みに関する事
	(26) その他

